

# 駒大・新時代の幕開け！序章を大臣杯で飾る！



→ 表彰式後、スタンドへ喜びを爆発させる選手たち



↑ 今大会 MVP 級の活躍を見せた酒井。試合後「サイコーです！」と、満面の笑みで喜びを表現していた。

→ 前期から好調を維持している金久保。今大会も2ゴール1アシストと活躍。



→ 秋田監督はじめ、スタッフ陣、ベンチの選手たちも一丸となって拵んだ優勝となった。



## Manager Comment

### ◆秋田浩一監督

「(ずっと追いかける展開だったが)一生懸命全力でプレーしてくれば、何回かチャンスはあると思っていた。湯澤はドリブルが上手いので使った。決勝点は出来過ぎ…。大塚は30分限定と分かっていたので、その範囲で使った。(中大の印象?)前の選手はスピード、テクニックという面で怖かった。後半は思った以上に前に出てきたのが、しっかり対応できたと思う。(出場停止の影響?)棗は高さとスピードがある選手。今日の先発した肝付は棗よりスピードはないが、頑張れるし高さもある。そのこぼれ球を拾えば、と思っていた。(前期、大臣杯までを振り返ると?)ディフェンス面はある程度良くなってきた。攻撃面は、棗が自分で走って自分で取ることが出来てきた。高さも勝ってきているので…まあ我慢です。(後期リーグは明大を追う展開、逆転ある?)まあ頑張ります。今やっているサッカーは悪くないので、それをやり続ける。粘り強さをもう少しつける。(天皇杯は?)1回戦は東京代表だと思う。そうすると大学か(笑)明大、国士、中央…なんだかなあって感じ。(足りない所)パスフィニッシュのところ」

